

鈴木 道彦(すずき みちひこ)

資 料

短冊『摘芹の 残多さよ あととかは 道彦』

作 者

1757(宝暦7)－1819(文政2). 9. 6

陸奥(宮城県)仙台生まれ。

加舎白雄が奥羽を行脚した際に門人となり、俳諧を学ぶ。白雄没後江戸に出て医者を営むかたわら、化政期江戸俳壇で活動する。

参考文献

『俳人評伝(下)俳句講座(3)』(明治書院／編・刊 1959

[県立 911. 308／6／3(11946928)])

『渋よつ手』(道彦／著 1810 飯田九一文庫)

『化政天保俳諧集』(創美社／編 集英社(古典俳文学大系
16) 1971 [県立 911. 308／11／16(11947389)])

